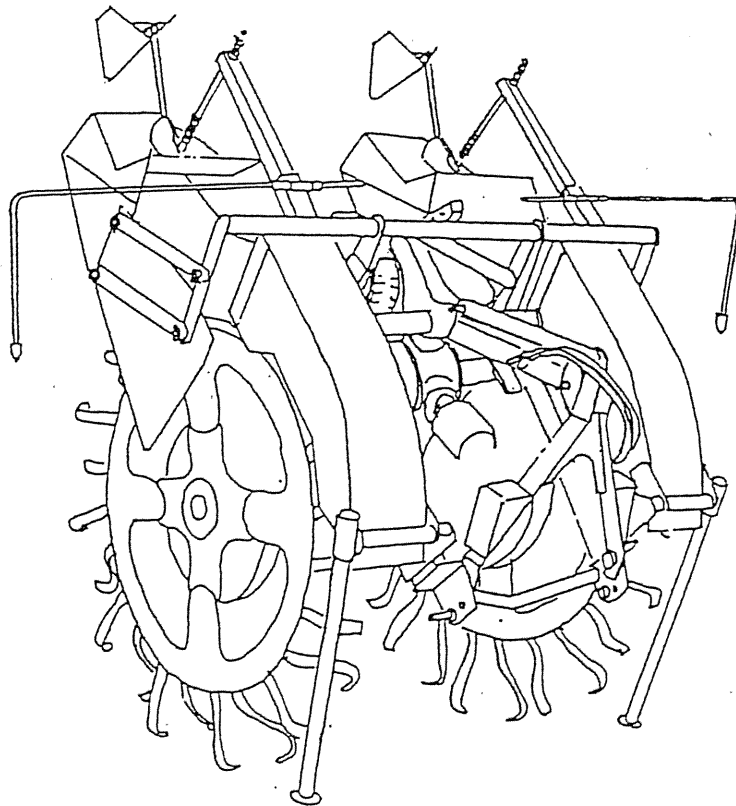


Sasaki

取扱説明書

ロータリトレンチャー



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
この取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると
事故を引き起こすおそれがあります。

使用前に必ずお読みください。

お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

目次

保証とサービスについて	2
各部の名称	3
装着方法	4
点検・調整	5
作業方法	6
シャーボルトについて	7
保守管理	8
主要諸元	9

保証とサービスについて

◆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管してください。

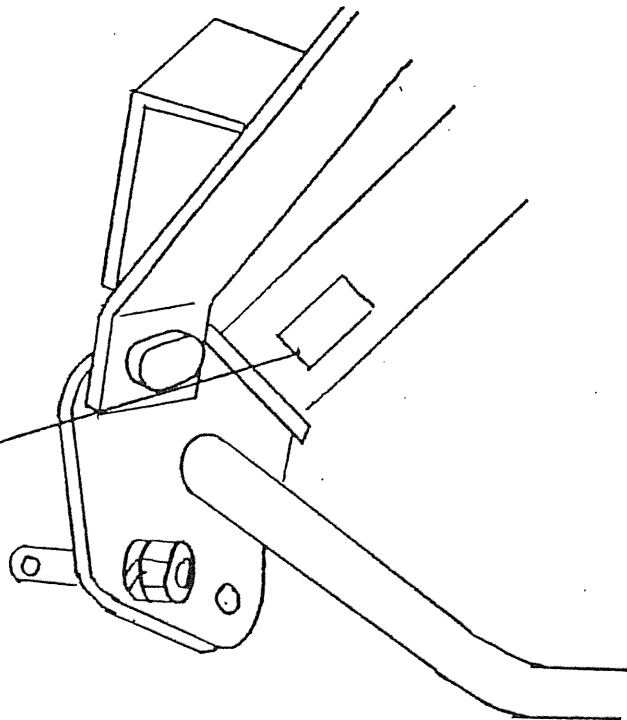
◆アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点があるときはお買い上げいただいた販売店等へご相談ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- ・ 型式名
- ・ 製造番号
- ・ ご使用状況は？（どんな作業をしていたときに）
- ・ どれくらい使用されましたか？（約何アールまたは何時間使用后）
- ・ 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。

型式名と
製造番号

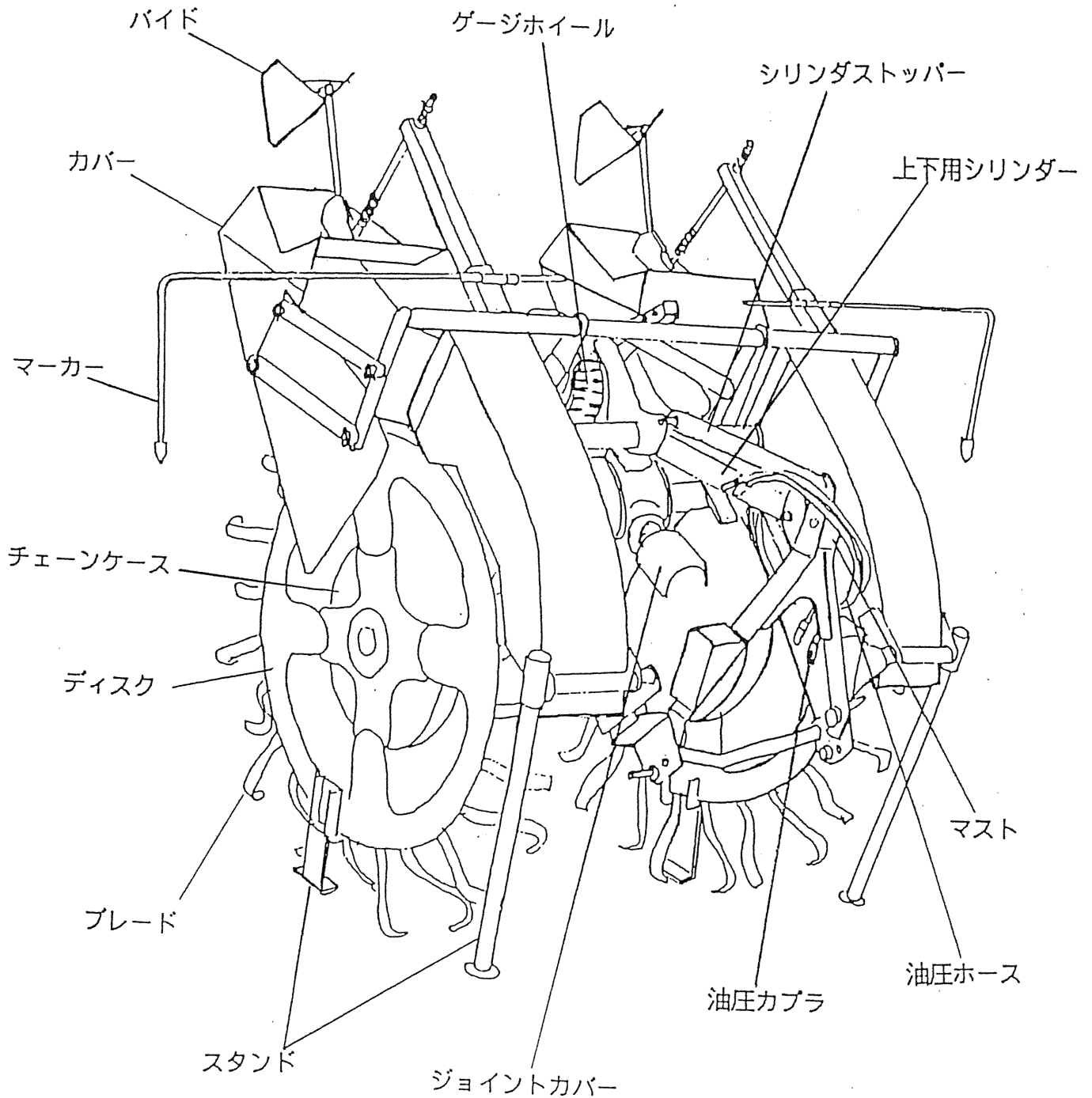


◆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。

ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称



装着方法

- ▲注意； 1、着脱時には回りに人がいない事を確認してから作業をしてください。
 2、2人以上での作業は合図をかけあい安全を確認しながら操作してください。
 3、装着作業は平坦で足場の良い場所で行ってください。
 4、装着時はトラクタとトレンチャの間に入らないでください。
 5、着脱作業時はトラクタのエンジンを停止してから行ってください。
 6、各部のボルト、ナット類のゆるみ、及びピン類の脱落が無いことを確認しゆるみがある場合等増締めしてから作業してください。

①トラクタへのセットは左ロウリンク、右ロウリンクの順序で行い、レベリングハンドルで水平調整をしてください。

②トプリックをセットしてください。

③油圧レバーでロウリンクを少し上げ、前スタンドをたたんでください。

④油圧シリンダの油圧ホースをトラクタの油圧取り出しカプラに接続してください。

*油圧カプラはビニールテープで色分けしてあります。

油圧レバーを引きで作業機が上がり、押しで下げとなるようにカプラを連結してください。

⑤3点リンクを静かに上げて上下用シリンダを縮め、後部スタンドを外してください。

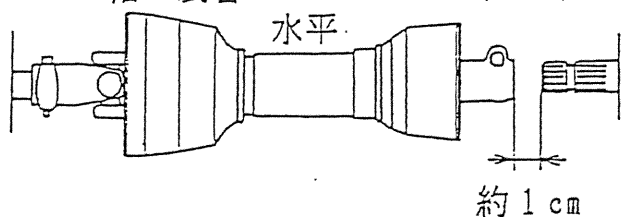
⑥チェックチェーンを作業機が左右3cm程度動くように均等に張って機体の横ゆれを防止してください。

⑦ロウリンクの高さが左右同一になるように調整してください。

⑧ジョイントを取り付けてください。ジョイントの長さはトラクタによって異なりますので必ず適正な長さに切断してください。

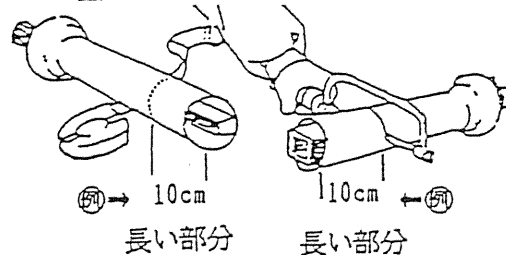
P T O 軸に装着

入力軸側



約 1 cm

■ ジョイントの切り方 (例)



(左右同じ寸法の切断をして下さい。)

- ▲注意；トラクタ P T O 軸と作業機入力軸が水平になる位置で、ジョイントを P T O 軸にだけ装着して一番短い状態で入力軸との間隔が 1 cm 程度あるのが適正です。ジョイントが長い場合は長い分を切断してください。この時シャフト及びポリカバーともオス・メス同じ長さで切断してください。ジョイントが長過ぎると突き上げて軸を破損させます。逆に短かすぎてもオス・メスの重なりが 100mm 以下ですとジョイントの強度が保てず破損につながります。危険ですから交換してください。

ジョイントの長さの確認はトラクタのエンジンを停止してから行ってください。

- ⑨ジョイントのポリカバーが回転しないように付属のチェーンで固定してください。
- ⑩3点リンクを静かに上下させ、まだ、上下用シリンダ及びスライドシリンダをゆっくり伸縮させてトレンチャがトラクタに接触しないことを確認してください。

トラクタからの取り外し方

警告

- トレンチャーの装着・取り外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 着脱時、トラクタとトレンチャーの間に入らないでください。
- トレンチャーの下へもぐったり、足を入れたりしないでください。守らないと死亡事故や障害事故につながります。

注意

- トラクタのPTO変速レバーを「中立」にして取り外してください。守らないと誤操作でPTO軸が回り、障害事故の原因になります。

- ① PTO変速レバーを「中立」にし、上下用油圧シリンダを縮めてください。
- ② スタンドを取り付け、ピンで固定してください。
TR1120 前スタンド2箇所、ディスクスタンド1箇所、後部スタンド1箇所
TR2120 前スタンド2箇所、ディスクスタンド2箇所

危険

- スタンド及びスタンドピンが確実に入っているか確認してください。守らないと死傷事故を起こす恐れがあります。

- ③ トラクタの3点リンクを油圧で静かに降ろし、スタンドが確実に地面についていることを確認してください。接地していない場合はトップリンク長さ及びスタンドピン穴位置にて調整し、再確認してください。
- ④ ユニバーサルジョイントを外してください。
- ⑤ 上下用シリンダの油圧ホースをカプラ部から外してください。
- ⑥ トップリンクを外してください。
- ⑦ 右ロワリンク、左ロワリンクの順で外してください。

点検・調整

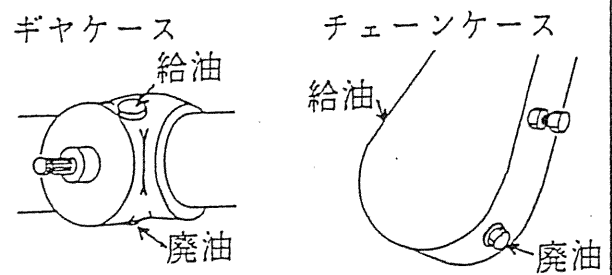
①作業前にボルト，ナット，ピン類の緩みや脱落がないことを確認して下さい。

②給油・オイル量の点検

1. ギヤケースおよびチェーンケースに180のギヤオイルを給油して下さい。

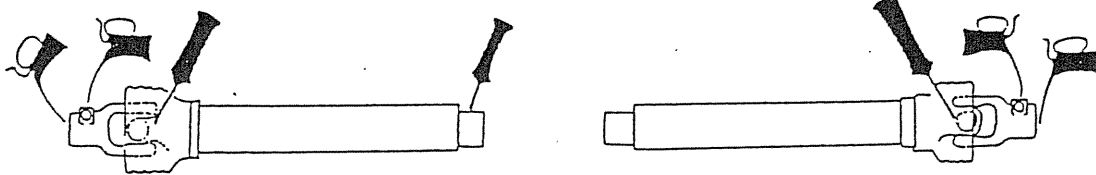
型 式	ギヤケース	チェーンケース
TR1120	1.0ℓ	1.5ℓ
TR2120	1.0ℓ	1.5ℓ×2

給油箇所及び廃油箇所



◆初回は使用後20時間目に、2回目以降は100時間毎に全量交換して下さい。

2. ユニバーサルジョイントには作業前にグリスニップルよりグリスを適量補給して下さい。



3. その他摺動部にも作業前にグリスを適量塗布して下さい。

③チェーンの点検及び張り調整

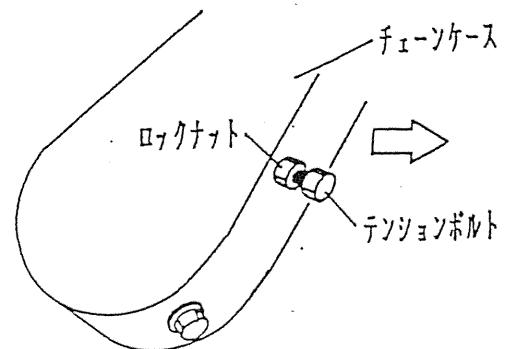
1. チェーンケースからチェーンの音が発生しはじめた場合はチェーンの張り調整を行って下さい。

1) ロックナットを緩めて下さい。

2) テンションボルトを指で締め込める程度に押し込んで下さい。

押し込み過ぎに注意して下さい。

3) ロックナットで確実にロックして下さい。



④ バランスウエイトの装着

トレンチャーを装着してトラクタの前輪が浮き上がるような場合は、トラクタにフロントウエイトを装着して前輪の浮き上がりを防止してください。

⑤ 動作の確認

トラクタの外部油圧レバーまたはサブコントロールを操作して掘削部が上下に作動することを確認してください。

▲注意；トラクタの油圧用の油量が不足する場合がありますので補給してください。

⑥ 異音のチェック

PTOを低速で回転させてチェーンケース内および動力伝達系統から異音が発生していないことを確認してください。

▲注意；トラクタのエンジンをかけるときは回りに人がいないことを確認してから行ってください。

作業方法

☆作業手順

① ブレードが地表面に接する程度に3点リンクを静かに下げてください。

② PTOレバーを1速にセットし、ディスクをゆっくり回転させてください。

所定の深さに入るまではエンジン回転数は低速で作業してください。

③ トラクタの外部油圧レバーまたはサブコントロールレバーでシリンダを徐々に一杯に伸ばし、3点リンクをゆっくり下げ所定の深さまで降ろしてください。

※ゲージホイールの取り付け穴位置を一番下の穴にしてフレームが地面と平行の状態での作業姿勢で掘削深さが120cmになります。

▲注意；ゲージホイールを調整するときはトラクタのエンジンを停止してください。

④ 掘削部が所定の深さに入り作業姿勢ができてからPTO軸回転数を540rpmまで上げてください。
作業速度は0.3～0.6km/hです。

⑤ 持ち上げの順序は入れ込みと逆の順序で行ってください。

1) PTOクラッチを切ります。

2) 3点リンクを半分上げます。

3) シリンダを一杯に縮めます。

4) 3点リンクを一杯上まで上げ、掘削部を地表から上げます。

☆作業上の注意事項

- ①掘削部が地表から出ている場合は、必要以外には絶対に駆動しないでください。
- ②PTO540rpm以下、作業速度0.6km/h以下を厳守してください。
- ③作業中に異音が発生したら直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。その後、原因を確認し処置してください。
- ④作業は蛇行運転をしないで始点から終点まで直線で行ってください。
- ⑤運転者がトラクタから離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ⑥補助作業者はできるだけ機械から離れて作業をし、危険な場合は直ちに避難できるようにしてください。

▲注意；移動時はシリンダーストッパーを必ず装着してください。

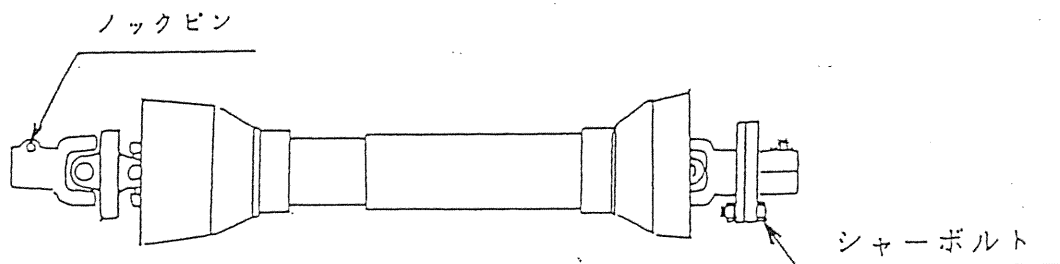
▲注意；作業機を装着すると前後バランスが変わります。発進時に前が浮く場合には転倒する場合がありますので、フロントウエイトを装着して静かに発進してください。

シャーボルトについて

本機は掘削部に過負荷を生じた場合、機械保護のためユニバーサルジョイントのシャーボルト切断により自動的に動力の伝達が遮断されます。原因を取り除いてから純正のシャーボルトで交換してください。

◎純正部品

適応型式	商品コード	名 称	規 格
TR1120	W61-130121-0	シャーボルト	M8×45-8T(全ネジ)
	01590-08000	ロックナット	M8
TR2120	01012-08050	シャーボルト	M8×50-7T
	01590-08000	ロックナット	M8



保守管理

- ① 作業終了後は水洗いして給油を行って下さい。
- ② ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないことを確認して下さい。
- ③ 損傷箇所がある場合は早めに修理、部品交換をして下さい。
- ④ 格納する場合は平坦で湿気やホコリのない場所に安定良く保管して下さい。

主要諸元

型式	TR1120	TR2120A	TR2120B	TR2120C	TR2120D
規格	160x1200	160x1200x2			
全長 (mm)	2800	2800			
全幅 (mm)	1750	2570	2670	2190	2570
全高 (mm)	2500	2500			
重量 (kg)	532	818	847	828	815
溝幅 (cm)	16	16			
条間 (cm)	任意	110	120	72	100
最大耕深 (cm)	120	120			
耕うん爪本数(本)	24	48			
作業速度 (km/h)	0.3~0.6	0.3~0.6			
適応トラクタ kw(ps)	33.1~47.8 (45~65)	40.5~55.2 (55~75)			
装着方法	標準3P 1,2型	標準3P 1,2型			

※重量にはガード・ジョイントを含みます。

※本諸元は改良のため予告なく変更する場合があります。

Sasaki

株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場／〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111 FAX 0176-22-8607
営業部／〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170 FAX 0176-25-3127
部品窓口／〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170 FAX 0176-25-3171
北東北営業所／〒034-0001 青森県十和田市里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354 FAX 0176-23-9655
仙台営業所／〒981-1201 宮城県名取市北原東180	TEL 022-382-4877 FAX 022-384-1641
関東営業所／〒329-0201 栃木県小山市粟宮1241-9	TEL 0285-45-8911 FAX 0285-45-8910
長岡営業所／〒954-0124 新潟県長岡市中之島1982-13	TEL 0258-66-0888 FAX 0258-66-0988
岡山営業所／〒702-8002 岡山県岡山市桑野110-2	TEL 086-274-9508 FAX 086-274-9510

0607-W589511000